

授業科目	母性看護学概論	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	母性の概念と母性看護の対象を理解する。 母性を取り巻く環境と母性各期の特徴に応じた看護の役割を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「母性看護学概論」医学書院		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 母性看護の基盤となる概念	4	1 母性とは 2 母子関係と家族発達 3 母性看護の役割と機能 1) セクシュアリティ 2) リプロダクティブヘルス/ライツ 3) ヘルスプロモーション 4) 母性看護のあり方 5) 母性看護における倫理	校内演習 DVD 視聴
2. 母性看護学の対象と取り巻く社会の変遷と現状	6	1 母性看護の変遷 2 母性保健統計からみた動向 3 母性看護に関わる法律・施策 4 母性看護の提供システム	小テスト： 法律関係
3. 母性看護の対象理解	6	1 女性生殖器の形態および機能 2 妊娠と胎児の性分化 1) 月経周期 2) 妊娠の成立 3) 性分化のメカニズム 3 現代女性のライフサイクル	
4. 女性のライフステージ各期における看護	8	1 ライフサイクルにおける女性の健康と看護 2 思春期の健康と看護 1) 月経異常 2) 性感染症 3) 人工妊娠中絶 3 性成熟期の健康と看護 1) 月経困難症 2) 子宮頸がん 4 更年期・老年期の健康と看護 1) 更年期症状・更年期障害 2) 尿失禁 3) 骨粗鬆症 4) 子宮体がん	校内演習

<p>5. リプロダクティブヘルスケア</p>	<p>4</p>	<p>1 家族計画 2 喫煙女性の健康と看護 3 性暴力を受けた女性の看護 4 児童虐待と看護 5 国際社会と看護</p>	
	<p>2</p>	<p>試験</p>	

授業科目	母性看護学方法論 I	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	妊娠、分娩、産褥各期の母子の生理的経過および心理・社会的特性を学び、順調に経過するための看護を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「母性看護学各論」医学書院		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 妊娠期における看護	5	1 妊娠期の身体的特性 1) 妊娠の生理 2) 胎児の発育とその生理 3) 母体の生理的変化 2 妊娠期の心理・社会的特性 1) 妊婦の心理 2) 妊婦と家族および社会 3 妊婦と胎児のアセスメント 1) 妊娠とその診断 2) 妊娠期に行う検査とその目的 3) 胎児の発育と健康状態の診断 4) 妊婦の日常生活に関するアセスメント 4 妊婦と家族の看護 1) 親になるための準備教育	課題： 「妊娠・出産経験者にインタビュー」
2. 分娩期における看護	2	1 分娩の3要素と分娩経過 2 産婦、胎児、家族のアセスメント 1) 分娩の進行と産婦の身体的変化 2) 産痛 3 分娩期の看護の実際 1) 産婦のニーズと分娩期の看護の実際	
3. 新生児期における看護	4	1 新生児の生理 1) 新生児の機能 2 新生児のアセスメント 1) 出生直後の評価 2) 新生児の検査 3 新生児の看護 1) 出生直後の看護	
4. 産褥期における看護	4	1 産褥経過 1) 産褥期の身体的変化 2) 産褥期の心理・社会的変化 2 産褥婦のアセスメント 1) 産褥経過の診断 (1) 進行性変化	

		<p>(2) 退行性変化 2) 産褥の健康状態のアセスメントと看護</p> <p>試験</p>	
--	--	---	--

授業科目	母性看護学方法論Ⅱ	担当講師	専任教員 非常勤講師（医師）
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	妊娠、分娩、産褥各期の母子の異常と看護を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「母性看護学各論」医学書院		
評価方法	試験、課題への取り組みと課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 出生前からのリプロダクティブヘルスケア	2	1 遺伝相談 1) 遺伝相談とは 2) 出生前診断とその実際 2 不妊治療 1) 不妊とその原因 2) 検査・治療	医師による講義
2. 妊娠、分娩、産褥、新生児の異常	12	1 妊娠の異常 1) ハイリスク妊娠 2) 妊娠期の感染症 3) 妊娠疾患 4) 多胎妊娠 5) 妊娠持続期間の異常 6) 子宮外妊娠 2 分娩の異常 1) 産道・娩出力・胎児・胎児付属物の異常 2) 分娩時の損傷・異常出血 3) 分娩第3期および分娩直後の異常 4) 産科処置と産科手術 3 新生児の異常 1) 新生児仮死 2) 低出生体重児 3) 高ビリルビン血症 4) ビタミンK欠乏性出血症 4 褥婦の異常 1) 子宮復古不全 2) 産褥期の発熱 3) 精神障害	医師による講義
3. 妊娠、産褥、新生児の異常の看護	15	1 ハイリスク妊婦の看護 1) 肥満・過剰体重増加妊婦の看護 2) 妊娠高血圧症候群妊婦の看護 3) 切迫流・早産の妊婦の看護 2 異常のある新生児の看護 1) 低出生体重児の看護 2) 高ビリルビン血症児の看護	事例演習

	1	3 異常のある褥婦の看護 1) 子宮復古不全の看護 2) 乳房トラブルの看護 3) 精神障害の看護	
--	---	--	--

授業科目	母性看護学方法論Ⅲ	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	妊婦、産婦、褥婦および新生児の看護に必要な援助技術を理解し、習得する。		
使用テキスト	系統看護学講座「母性看護学各論」医学書院		
評価方法	試験により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 妊婦の看護技術	4	1 レオポルド触診法 2 ノンストレステスト	校内実習
2. 産婦の看護技術	2	1 陣痛測定法 2 呼吸法、補助動作、産痛緩和	
3. 褥婦の看護技術	2	1 褥婦の観察 2 授乳の援助 3 乳房の手入れ	校内実習
4. 新生児の看護技術	4	1 沐浴 1) 必要性和根拠 2) 演習 3) 実技試験	DVD 視聴 校内実習 実技試験
5. 新生児の看護過程	2	1 新生児の生理的变化と観察 2 生理的体重減少と生理的黄疸の看護の実践	DVD 視聴
	1	試験	